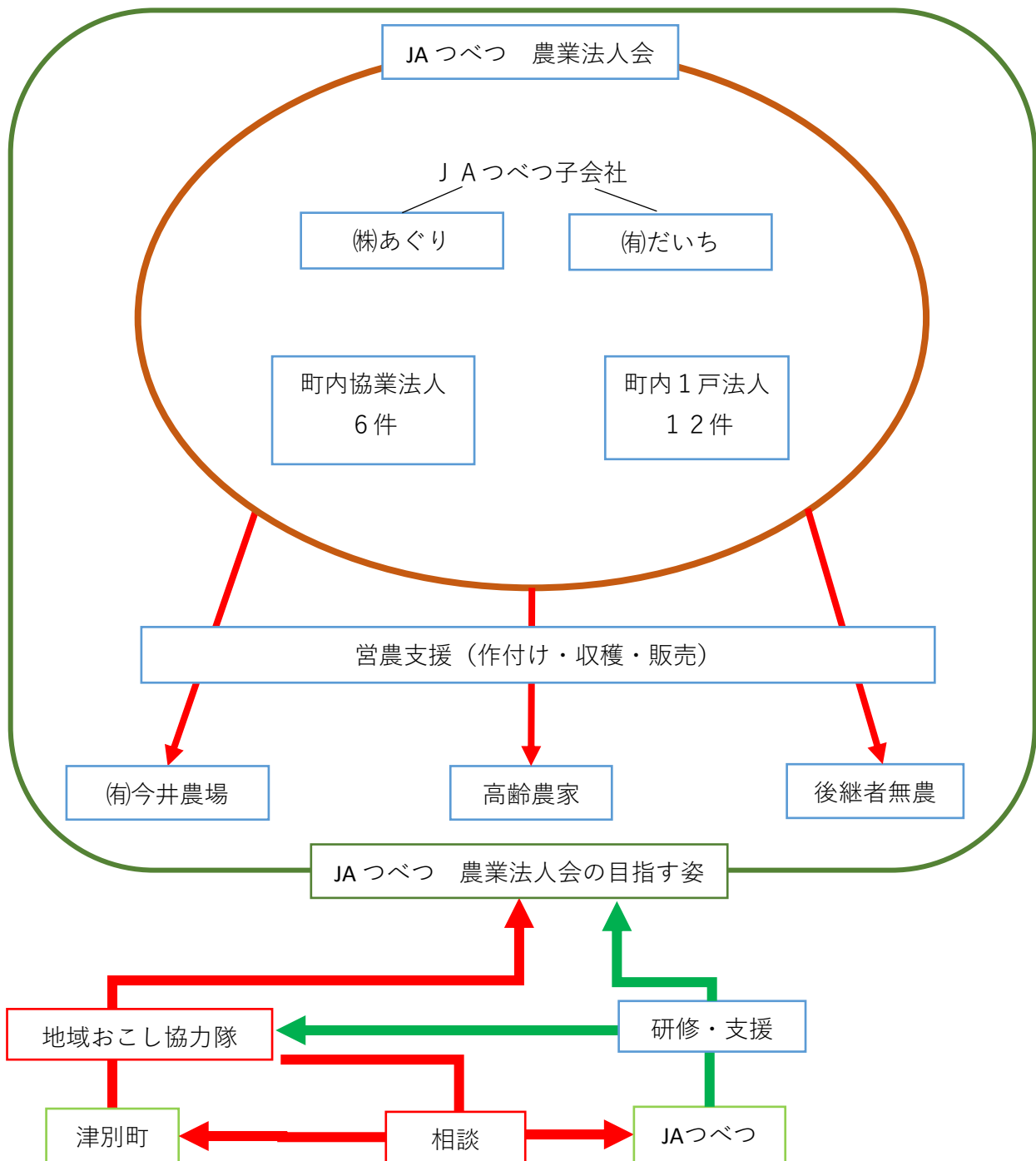


地域課題・問題

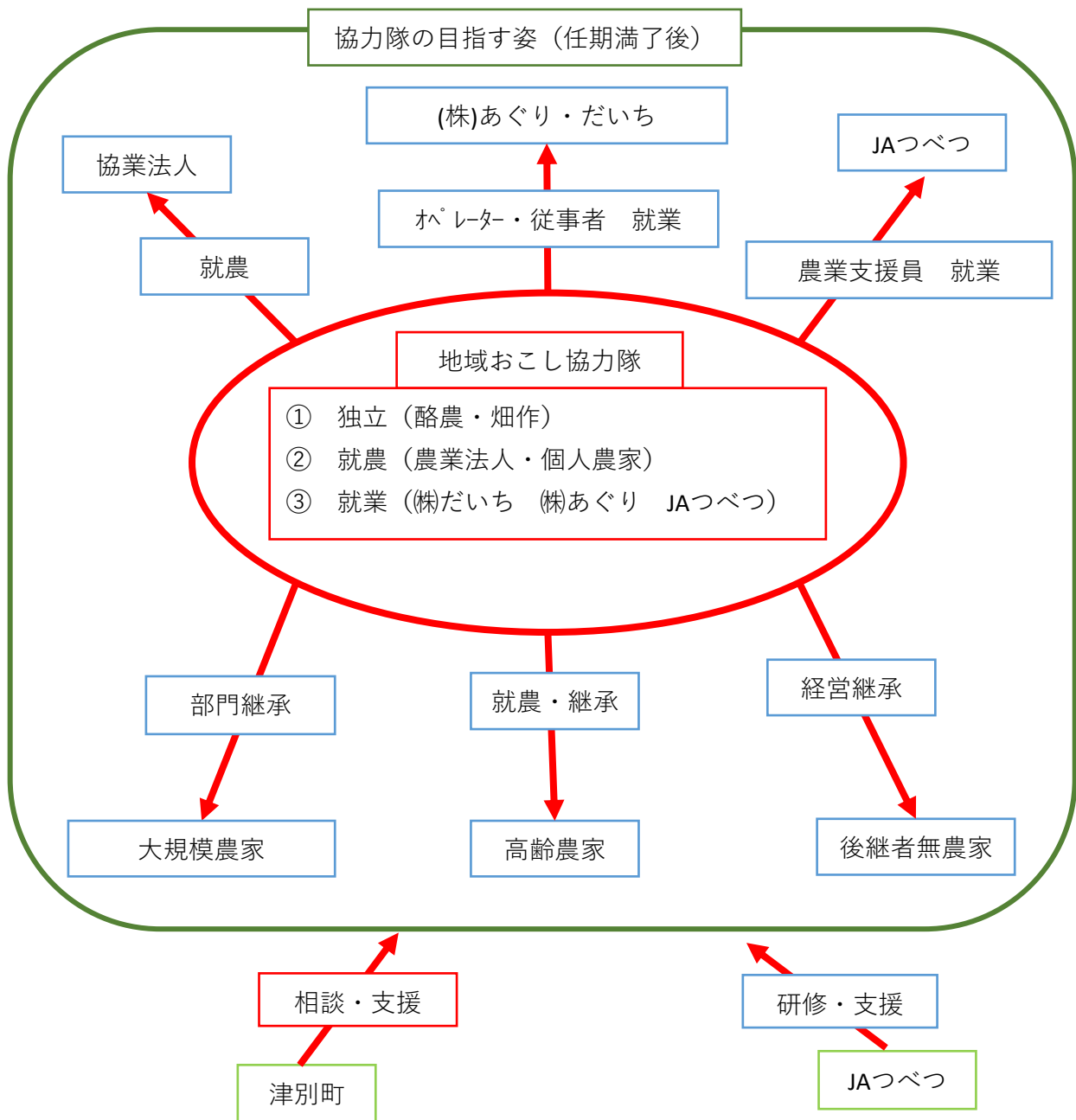
地域全体が高齢化となる中で農業分野においても農業従事者の高齢化が進んでいる状況にある。このような状況において、後継者不足から離農を検討する農業者が多くなってきていることから津別町内で組織された協業農業法人が中心となって、離農者を支援するとともに農地及び農業経営の受け皿になる必要がある。

このためには農業従事者及び新規就農者確保、並びに事業継承者の発掘が必要である。



地域課題・問題解決に向けて

地域おこし協力隊をJAつべつ 農業法人会で受け入れ実施する。この中で、現実に農業従事者を必要とする農業者への支援をミッションとして農業への理解と自分が津別町で目指す農業像を明確にし、町内で農業に従事する者（就農・就業・継承）となり、地域全体の活性化を目指す。



協力隊期間のスケジュール（36ヶ月）

農業理解度の向上

- ① 1～6ヶ月：農業の理解の向上
- ② 7～12ヶ月：生産から管理業務の理解の向上
- ③ 13～18ヶ月：協力隊員が目指す農業の決定

協力隊の目指す姿

協力隊員の農業の方向

- ① 独立（酪農・畑作）
- ② 就農（農業法人・個人農家）
- ③ 就業（(有)だいち (株)あぐり JAつべつ